

世界遺産 Quiz

厳島神社 (日本)

悠
遊
の
大
人

Q 厳島の名物となっている海中の鳥居は、どのような構造になっているのでしょうか？

1. 海底に柱が固定されている
2. 自分の重みで海底に立っている
3. 海中に浮いている
4. 潮の干満に合わせて柱が伸縮する



Kiichiro Yoshimoto (KIPSY)



●アクセス
広島県廿日市にある厳島神社への所要時間は、広島市から列車と連絡船で約40分。

●答え…… (2)

【解説】 厳島神社の沖合、約100^{メートル}の位置にある朱丹の大鳥居は、主柱の前後に稚児柱を設け、計6本の柱で全体を支えるスタイルの両部鳥居という種類。海底の砂地に、それぞれ100本の松の木の杭を埋めて作られた台座の上に自立させることで、潮の干満の差が激しい環境に適応する構造となっている。また鳥居が浮き上がったたり、流されたりしないように、鳥居の屋根の空洞部分には、重しとして約7^トのお経の書かれた石が詰められている。ちなみに、現在の鳥居は、創建された平安時代から数えて、8代目（明治8年完成）である。【メモ】 厳島神社のある宮島は、古代より島自体が神そのものとして信仰の対象となってきた。平安時代末期に守り神として平家一族の崇敬を受け、厳島神社と大鳥居は、仁安3（1168）年頃に、平清盛によって造営された。

協力：NPO法人 世界遺産アカデミー 世界遺産検定HP www.sekaken.jp